3月 ひだまり

木田小学校保健室
令和８年３月５日
No.12

新年度まであと少し。たくさんの思い出が詰まった一年間も締めくくりの時期です。この一年を振り返って、なにが一番に思い浮かびましたか？楽しかったのはどんなことでしょうか。３月９日はサンキューの日。もし今、心の中に「お世話になったな」「嬉しいことをしてくれたな」という人が浮かんだら、気持ちを伝えておきたいですね。

保健室 1年間の記録

今年１年間(4月８日～2月27日)で、どれぐらいの人が保健室を利用したか数えてみました。

保健室の利用者数
3,217 人 でした

ケガで来た人
1,754 人

体調が悪くて来た人
1,463 人

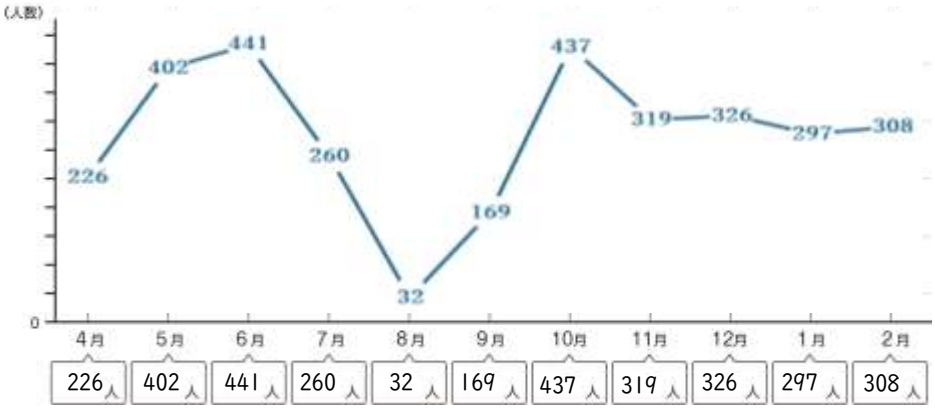
来た人が多かった月
6 月
441 人

一番多かったケガ
打撲

一番多かった症状
頭痛

R５年度の保健室の利用者は 4,811人、R6年度は 4,262 人でした。今年度は昨年度より**約1,000人利用者が減りました。**そして、ケガをした人の数も昨年度と比べると、**約700人少ない**ことが分かりました。ここ３年間で一番少ない数でした。これからも引き続き、安全に元気に学校生活を送ってほしいと思います。

折れ線グラフでわかる 今年度の保健室利用状況



学校薬剤師さんによる『薬物乱用防止教室』（6年生）

学校薬剤師の東郷先生に、たばこやお酒、薬物の害について教えていただきました。

なぜお酒やたばこは 20歳からと法律で定められているのか、なぜ薬物は１度でもダメ！ゼッタイ！！と言われているのかを知ることができました。

たばこを１日平均20本吸う人が、１年間肺に取り込む有害物質(タール)の量を瓶につめたものを見せていただきました。

飲酒したときの、酔っ払った状態を体験できるゴーグルをつけて、線の上をまっすぐ歩けるか実験してみました。

足元がとても見にくく、ふらついてしまい、まっすぐ歩くことが難しい様子でした。お酒は判断力や運動能力を低下させてしまうことが分かりました。

【6年生の感想】

- 「薬物」は薬やたばこ、お酒も含まれると知って、おどろきました。ふだん飲む薬も気をつけて飲もうと思いました。お酒は将来きっと飲むから、今日のことを覚えておいて、危険な使い方をしないようにしたいと思います。
- たばこやお酒、薬物について、よく分かりました。薬物は絶対にしてはいけないこと、お酒やたばこは２０歳にならないとダメな理由がはっきりと分かったので、良かったです。もしさそわれても流されず断れるように気をつけようと思います。
- たばこには、一酸化炭素、ニコチン、タールの三つがあることが分かりました。お酒は子どものときに飲むと、身長が伸びなくなったり、集中力が低下することがわかりました。